

「巨大なソースの修正2」における ソース修正部分一覧

- ・アクセスのあるサーブレットには、Insert.javaやSearch.javaを除いて直リンク禁止機構を設置。正規の手続きを踏まないアクセスは全てerror.jspへ送るようにした。既存の直リンク禁止機構についても、「sessionに格納される要素”ac”が見つからない場合にもerror.jspへ送る」機能を追加。

- ・セッションの開始部分がInsert.javaやSearch.javaになったことに伴い、セッションをクリアする部分をindex.jspに変更。

- ・SearchResult.javaにおいて、update.jspなどから検索結果画面に戻った場合に備え、前回の検索条件をUserDataBeansに格納するように修正。

- ・UserDataDAO.javaのsearchメソッドにおいて、検索結果が1件しか得られない状態になっていたのを、返す値をArrayList型にすることで複数件の結果を返せるように修正

- ・searchresult.jspにおいて、検索結果がなかった時の表示がなかったの
で、そのための表示を追加。

- ・詳細個人データは複数ページで持ち回り、requestで渡せない場面もあったため、sessionに格納して持ち回るように変更。

- ・ResultDetail.javaにおいて、個人詳細データ用のIDを格納するところが2で固定されていた。searchresult.jspからIDを受け取り、そのIDの個人データを得られるように修正。

- ・update.jspにおいて、フォームに初期値が設定されていなかった。Update.javaから個人詳細データを受け取り、その値を初期値へ設定できるように修正。

- ・ JumsHelperクラスに、「詳細表示画面へ戻る」ための表示メソッド、detailを追加。

- ・ UpdateResult.javaの中身が何も設定されていなかった。セッションから詳細データを受け取り、それを用いてデータの更新を行うように修正。

- ・ UserDataDAO.javaのupdateメソッドにおいて、更新元のデータが削除等でなくなっている場合にはその旨のエラーメッセージを出すように修正。

- ・ updateresult.jspにおいて、結果表示がデータに反映されていなかった。UpdateResult.javaからデータを受け取り、表示に反映されるように修正。

- ・ Delete.javaの中身が何も設定されていなかった。直リンク防止機構を設け、delete.jspに処理を渡すように設定。

- ・ DeleteResult.javaの中身が何も設定されていなかった。受け取ったデータをデータベースから削除し、削除されたデータをdeleteresult.jspへ渡すように修正。